



学校と地域との 合同防災訓練が行われました



小学校



10月19日（日）連合町内会と小学校、中学校が合同で行う防災訓練が行われました。
8時25分に地震が発生したと想定。小学生は保護者とともに一時（いっとき）避難所である町内会の集会所に集まりました。児童の点呼が終了次第、小学生は保護者とともに小学校へ登校、親子で「煙霧体験」をしました。



開会式は小学生、中学生、地域（約1300名）が小学校の校庭に勢ぞろいして行われました。その後、児童は教室で地震や津波、災害などについて学び、防災訓練の終了した保護者が参観しました。

学年	教科	内 容
1年生	学活	あの日。3. 11
2年生	学活	つなみについて知ろう
3年生	学活	家族防災会議を開こう ～防災リュックを用意しよう～
4年生	理科	地震のメカニズムを知ろう
5年生	学活	いろいろな自然災害 ～大雨台風などの被害と正しい知識～
6年生	学活	災害に備える
けやき	生活	自分で身を守る・みんなで守る



このおたよりは学校のHP「コンパス住吉台」でカラーでご覧になれます。



中学校



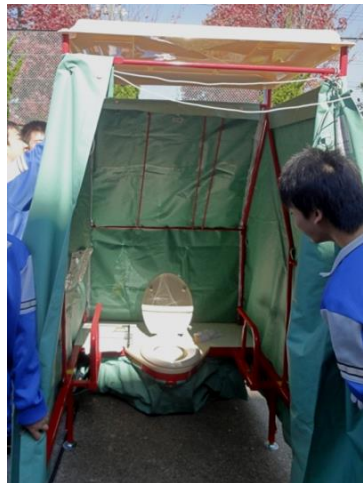
中学1年生と2年生は、地域の方々と一緒に「災害伝言ダイヤル」「消火訓練」「救護訓練」に参加しました。



また、3年生男子は仮設トイレの設営訓練、女子は炊き出し訓練に参加しました。

仮設トイレの設営は大人たちの力は借りず、説明書を見ながら3年生の力だけで組み立てました。細かいネジや似たようなパイプを前に、悪戦苦闘しながらも協力して完成させました。

また炊き出し訓練では、連町の防災交通部の方々の指示のもとアルファ米450食分の炊き出しと仕分けをしました。



閉会式では、連合町内会副会長の大塚さんから「東日本大震災時の体育館清掃での中学生の活躍は忘れられない。中学生は地域の大きな戦力です。日本は災害と向き合っていかなければならない国です。今後も防災意識を高めて、地域に協力してほしい。」とお話をいただきました。

中学生は訓練会場のテント設営準備から最後の後片付けにも協力し、まさに地域の戦力として活躍しました。

